

[研究ノート]

入学選考方法別による学業成績の追跡調査(2)

生地 暢・江越 和夫・原 浩美・山下 浩子

A Follow-up Survey of the Results of Entrance-Examination Correlated to Their Present Records of Schooling-2

ONJI Masashi, EGOSHI Kazuo, HARA Hiromi,
YAMASHITA Hiroko

The relationship between entrance examination methods and the results after admission were conducted by means of GPA in student during the years 2012-15. In the department of Child Education, there were significant results in total 4 years as they related to the AO examination to enter the college in 20 years of age and older and the recommendation, the AO examination to enter the college in 20 years of age and older and the test examination, and the AO examination to enter the college in 20 years of age and the AO examination to get into college right after high school. In the departments of Food Design and Business Career, there were not significant. According to the entrance examination methods classified, the results after entrance into the college showed slightly higher scores for the students who took the AO examination to enter the college in 20 years of age in the department of Child Education and Food Design. In the departments of Business Career, they showed slightly higher scores for the students who took the examination used test of National Center for University Entrance Examination. For the reason, the AO examination to enter the college in 20 years of age students specifically took the purpose which is want to study and get job of Childcares, and Diets and Nutrients.

Key words: Entrance-examination, Admission, GPA, Follow-up survey

キーワード: 入学選考, 入学, GPA, 追跡調査

I はじめに

2015 (平成 27) および 2017 (平成 29) 年度私立短期大学入学者選抜実施状況によると, 2013 (平成 25) 年度, 2014 (平成 26) 年度, 2015 年度, 2016 (平成 28) 年度 2017 年度の

5 年間での推薦入試による入学者は, それぞれ 61.9%, 61.3%, 62.1%, 61.9% および 60.6% と推移している。また, 短期大学におけるアドミッションオフィス (Admission office:AO) 入試による入学者は, 2013 年度, 2014 年度, 2015 年度, 2016 年度 および 2017 年度はそれぞれ

れ19.8%, 21.2%, 21.9%, 22.9%および24.8%であった。つまり、推薦入試による入学者とAO入試による入学者で80%以上に達していることになる¹⁾²⁾。

本学の入学選考方法区分は、推薦入学選考、試験入学選考、大学入試センター試験利用入学選考、AO入学選考が実施されている。推薦入学選考、大学入試センター利用入学選考、AO入学選考においては、2017年度現在はそれぞれ2期、3期、5期の複数回の受験機会を設定している。

前報³⁾では、選考方法の妥当性および信頼性を担保されているかを確認するために、グレートポイントアベレージ (Grade Point Average: GPA) を用いて、2012 (平成24) 年度および2013年度の入学生での入学選考方法別の学業成績の追跡調査を行った。

本報では、入学前から入学後の教育支援体制への改善に活用するデータ集積のために、入学選考方法別の学業成績の継続的な追跡調査を行ったので、前報の結果も含め、報告する。

II. 方法

1. 調査対象

調査対象は、本学幼児教育学科、フードデザイン学科、ビジネスキャリア学科の2012年度入学生、2013年度入学生、2014年度入学生および2015年度入学生である。

2. 入学選考方法

入学選考方法は、推薦入学選考 (以下、「推薦入試」と示す。)、試験入学選考 (以下、「一般入試」と示す。)、大学入試センター試験利用入学選考 (以下、「センター入試」と示す。)) およびAO入学選考 (以下、「AO入試」と示す。)) を実施している。

入学選考時期および回数は、毎年おおむね「推薦入試」が11月上旬と12月中旬の2回、「一般入試」が2月上旬の1回、「センター入試」が1月中旬から3月中旬までに3回実施されている。「AO入試」は、エントリー期間が7月下

旬から3月中旬までに、出願期間が9月上旬から3月中旬までに5回実施されている。

3. グレート・ポイント・アベレージ (Grade Point Average : GPA) について

前報³⁾と同様に、本学におけるGPAは、AA (99-100点) を4点、A (80-89点) を3点、B (70-79点) を2点、C (60-69点) を1点、D (59点以下) を0点とし、これらの全履修科目総合計を総履修登録単位数で除することで算出した。

基礎教育科目はほぼ全学科共通であるが、必修科目は各学科により異なっている。また、専門教育科目は学科により必要な単位数は異なっている。

4. 分析・検証

学業成績は、2年間の全ての履修科目に対してのGPAを尺度として用い、入学選考方法別からみた学業成績の差をt検定 (ウェルチのt検定) を用いて比較検証した。上記の統計処理には、「Excel 2013」の統計ソフトを用い、有意水準は危険率5%未満とした。

III. 結果および考察

1. 4年間の入学数・退学者数・卒業数

本学は、「推薦入試」による入学者は専願者であり、面接による選考が重視されている。また、「AO入試」の中に、入学時満20歳以上の社会人に対して、社会人入学への門戸を開き、面談とエントリーシートおよび高等学校の成績証明書による選考を行っている。

2012～2015年度入学生の入学数、退学者数および卒業数は表1のとおりである。各学科ごとに入学数および卒業数を見てみると、幼児教育学科は、4年間の入学数は302名、卒業数は278名であった。フードデザイン学科は、4年間の入学数は114名、卒業数は106名であった。ビジネスキャリア学科は、4年間の入学数は78名、卒業数は74名であった。

表 1 2012～2015 年度入学生の入学者数・退学者数・卒業生数

入学年度	入学者数	退学者数	卒業生数	
2012	幼児教育学科	86	4	82
	フードデザイン学科	23	0	24 ^{#1}
	ビジネスキャリア学科	29	1	28
2013	幼児教育学科	67	5	62
	フードデザイン学科	26	2	24
	ビジネスキャリア学科	24	2	22
2014	幼児教育学科	70	8	63 ^{#2}
	フードデザイン学科	30	4	27 ^{#2}
	ビジネスキャリア学科	15	0	15
2015	幼児教育学科	79	7	71
	フードデザイン学科	35	4	31
	ビジネスキャリア学科	10	1	9

#1:2011年度入学生が含まれている。
#2:2013年度入学生が含まれている。

3 学科全体を年度ごとに、入学者数、退学者数および卒業生数を見てみると、2012 年度入学者数は 138 名、2013 年度入学者数は 117 名、2014 年度入学者数は 115 名、2015 年度入学者数は 124 名であった。そのうち、それぞれ 5 名、9 名、12 名および 12 名が退学し、2013 年度卒業生数は 134 名 (2011 年度入学生が含まれている)、2014 年度卒業生数は 108 名、2015 年度卒業生数は 105 名 (2013 年度入学生が含まれている)、2016 年度卒業生数は 111 名であった。

2. 入学者選考方法別による卒業生数

入学者選考方法別による卒業生数は表 2 のとおりである。各学科で 4 年間の入学者選考方法別による卒業生数を見てみると、幼児教育学科は、「推薦入試」が 198 名、「一般入試」が 16 名、「センター入試」が 8 名、「AO 入試」が社会人入学生が 29 名、現役生が 27 名であった。フードデザイン学科は、「推薦入試」が 70 名、「一般入試」が 11 名、「センター入試」が 5 名、「AO 入試」が社会人入学生が 9 名、現役生が 11 名であった。ビジネスキャリア学科は、「推薦入試」が 51 名、「一般入試」が 9 名、「センター入試」が 5 名、「AO 入試」が社会人入学生が 1 名、現役生 8 名であった。

3 学科全体を年度ごとの卒業生数 (() 内はその割合を示す) で見てみると、2013 年度では、「推薦入試」が 98 名 (73.1%)、「一般入試」が 13 名 (9.7%)、「センター入試」が 5 名 (3.7%)、「AO 入試」では、社会人入学生が 10 名 (7.5%)、現役生が 8 名 (6.0%) であった。

表 2 入学者選考方法による卒業生数(2012～2015 年度入学生)

卒業年度	学科	推薦入試	一般入試	センター入試	AO入試(社会人)	AO入試(現役)
2012	幼児教育学科	66	3	2	7	4
	フードデザイン学科	15	5	1	3	0
	ビジネスキャリア学科	17	5	2	0	4
2013	幼児教育学科	40	7	1	7	7
	フードデザイン学科	15	3	2	1	3
	ビジネスキャリア学科	16	0	2	0	4
2014	幼児教育学科	43	2	4	8	6
	フードデザイン学科	16	1	2	2	6
	ビジネスキャリア学科	14	0	0	1	0
2015	幼児教育学科	49	4	1	7	10
	フードデザイン学科	24	2	0	3	2
	ビジネスキャリア学科	4	4	1	0	0

2014 年度では、「推薦入試」が 71 名 (65.7%)、「一般入試」が 10 名 (9.3%)、「センター入試」が 5 名 (4.6%)、「AO 入試」では、社会人入学生が 8 名 (7.4%)、現役生が 14 名 (13.0%) であった。2015 年度では、「推薦入試」が 73 名 (69.5%)、「一般入試」が 3 名 (2.9%)、「センター入試」が 6 名 (5.7%)、「AO 入試」では、社会人入学生が 11 名 (10.5%)、現役生が 12 名 (11.4%) であった。2016 年度では、「推薦入試」が 77 名 (69.4%)、「一般入試」が 10 名 (9.0%)、「センター入試」が 2 名 (1.8%)、「AO 入試」では、社会人入学生が 10 名 (9.0%)、現役生が 12 名 (10.8%) であった。

4 年間の卒業生とも、「推薦入試」による選考を行った卒業生が最も多かった。「一般入試」による選考を行った卒業生は、2015 年度以外の 3 年間は約 9% の割合で推移していた。「AO 入試 (社会人)」による選考を行った卒業生は、2013 年度および 2014 年度の 2 年間は約 7% の割合であったが、2015 年度および 2016 年度の 2 年間はそれぞれ 10.5% および 9.0% とその割合が上昇傾向にあった。「AO 入試 (現役)」による選考を行った卒業生と合計した「AO 入試」による選考を行った卒業生の割合は 2013 年度以外の 3 年間は約 20% で推移していた。入学者選考方法別による入学生の全国平均と単純に比較出来ないが、「推薦入試」では 10% ほど高い割合を示し、「AO 入試」でも全国平均と同じ程度の割合であった。

3. 入学者選考方法別による GPA

2012～2015 年度入学生について、入学者選

考方法別による GPA を算出し、平均 ± 標準偏差で表したものを表 3 にまとめた。

幼児教育学科では、全体の GPA が 2012 年度入学生では 2.53 ± 0.50 、2013 年度入学生では 2.43 ± 0.53 、2014 年度入学生では 2.38 ± 0.64 、2015 年度入学生では 2.49 ± 0.52 であった。年度毎に比較した場合、2012 年度入学生では、「一般入試」の GPA (3.03 ± 0.12) と「AO 入試(社会人)」の GPA (3.22 ± 0.44) は、双方共に「推薦入試」の GPA (2.43 ± 0.45) よりも有意に高いことが認められた。「推薦入試」、「センター入試」および「AO 入試(現役)」の 3 者間の GPA、ならびに「一般入試」および「AO 入試(社会人)」の 2 者間の GPA においては有意

差は認められなかった。2013 年度入学生では、「AO 入試(現役)」の GPA (2.02 ± 0.34) は、「推薦入試」の GPA (2.47 ± 0.49) および「AO 入試(社会人)」の GPA (2.84 ± 0.54) と比較して、有意に低いことが認められた。「推薦入試」、「一般入試」、「センター入試」および「AO 入試(社会人)」の 4 者間の GPA においては有意差は認められなかった。2014 年度入学生では、「AO 入試(社会人)」の GPA (2.87 ± 0.68) は、「AO 入試(現役)」の GPA (1.81 ± 0.46) よりも有意に高いことが認められた。「推薦入試」、「一般入試」、「センター入試」および「AO 入試(社会人)」の 4 者間の GPA においては有意差は認められなかった。2015 年度入学生では、「AO

表 3 入学者選別方法による GPA (2012~2015 年度入学生)

卒業年度	推薦入試	一般入試	センター入試	AO入試(社会人)	AO入試(現役)	
幼児教育学科	2013	2.43 ± 0.45	3.03 ± 0.12	2.49 ± 0.20	3.22 ± 0.44	2.57 ± 0.39
		**		ns	ns	
		*				
	2014	2.47 ± 0.49	2.50 ± 0.55	3.05 ± 0.00	2.84 ± 0.54	2.02 ± 0.34
		ns		ns	*	*
		*				
2015	2.31 ± 0.58	2.84 ± 0.46	2.79 ± 0.52	2.87 ± 0.68	1.81 ± 0.46	
	ns	ns	ns	**		
2016	2.43 ± 0.50	1.96 ± 0.25	3.10 ± 0.00	3.08 ± 0.37	2.51 ± 0.41	
	**		ns	*	*	
	**					
フードデザイン学科	2013	2.37 ± 0.43	2.31 ± 0.68	2.40 ± 0.00	2.64 ± 0.69	-
		ns	ns	ns	ns	
	2014	2.38 ± 0.49	2.22 ± 0.24	2.22 ± 0.34	2.40 ± 0.00	2.48 ± 0.99
		ns	ns	ns	ns	ns
	2015	2.10 ± 0.54	2.21 ± 0.00	2.48 ± 0.32	3.46 ± 0.25	2.30 ± 0.61
	ns	ns	ns	ns	ns	
2016	2.28 ± 0.67	2.02 ± 0.20	-	2.60 ± 1.04	1.89 ± 0.05	
	ns	ns		ns		
	*					
ビジネスキャリア学科	2013	2.68 ± 0.53	2.21 ± 0.73	3.22 ± 0.05	-	2.77 ± 0.24
		**				ns
	2014	2.55 ± 0.51	-	2.76 ± 0.96	-	1.91 ± 0.41
		ns		ns		ns
	2015	2.62 ± 0.73	-	-	1.90 ± 0.00	-
	ns			ns		
2016	3.31 ± 0.21	2.55 ± 0.63	2.48 ± 0.00	-	-	
	ns	ns	ns			
mean±SD	ns:p>0.05	*:p<0.05	** :p<0.01			

入試(社会人)」のGPA (3.08 ± 0.37) は、「推薦入試」のGPA (2.43 ± 0.50) , 「一般入試」のGPA (1.96 ± 0.25) および「AO入試(現役)」のGPA (2.51 ± 0.41) と比較して、有意に高いことが認められた。また、「一般入試」のGPAは、「AO入試(現役)」のGPAよりも有意に低いことが認められた。「センター入試」および「AO入試(社会人)」の2者間のGPAにおいては有意差は認められなかった。

次に、フードデザイン学科では、全体のGPAが2012年度入学生では 2.39 ± 0.53 , 2013年度入学生では 2.36 ± 0.55 , 2014年度入学生では 2.28 ± 0.63 , 2015年度入学生では 2.27 ± 0.69 であった。年度毎に比較した場合、2012年度入学生では、「推薦入試」, 「一般入試」, 「センター入試」および「AO入試(社会人)」の4者間のGPAにおいては有意差は認められなかった。2013年度入学生および2014年度入学生では、「推薦入試」, 「一般入試」, 「センター入試」, 「AO入試(社会人)」および「AO入試(現役)」の5者間のGPAにおいては有意差は認められなかった。2015年度入学生では、「推薦入試」のGPA (2.28 ± 0.67) は、「AO入試(現役)」のGPA (1.89 ± 0.05) よりも有意に高いことが認められた。「推薦入試」, 「一般入試」および「AO入試(社会人)」の3者間のGPAにおいては有意差は認められなかった。

さらに、ビジネスキャリア学科では、全体のGPAが2012年度入学生では 2.64 ± 0.58 , 2013年度入学生では 2.45 ± 0.61 , 2014年度入学生では 2.58 ± 0.73 , 2015年度入学生では 2.88 ± 0.59 であった。年度毎に比較してみると、2012年度入学生では、「センター入試」のGPA (3.22 ± 0.05) は、「推薦入試」のGPA (2.68 ± 0.53) よりも有意に高いことが認められた。「推薦入試」, 「一般入試」および「AO入試(社会人)」の3者間のGPAにおいては有意差は認められなかった。2013年度入学生では、「推薦入試」, 「センター入試」および「AO入試(現役)」の3者間のGPAにおいては有意差は認められなかった。2014年度入学生では、「推薦入試」および「AO入試(社会人)」の2者間のGPAにおいては有意差は認められなかった。2015年度入学生で

は、「推薦入試」, 「一般入試」および「センター入試」の3者間のGPAにおいては有意差は認められなかった。

入学者選考方法別によるGPAを4年間まとめて算出すると、幼児教育学科ではそれぞれ「AO入試(社会人)」が 3.00 ± 0.55 , 「センター入試」が 2.79 ± 0.43 , 「一般入試」が 2.51 ± 0.57 , 「推薦入試」が 2.41 ± 0.50 , 「AO入試(現役)」が 2.24 ± 0.51 の順で高く、フードデザイン学科では、「AO入試(社会人)」が 2.78 ± 0.82 , 「センター入試」が 2.36 ± 0.32 , 「推薦入試」が 2.28 ± 0.57 , 「AO入試(現役)」が 2.27 ± 0.71 , 「一般入試」が 2.23 ± 0.50 の順であった。ビジネスキャリア学科では、「センター入試」が 2.88 ± 0.67 , 「推薦入試」が 2.67 ± 0.60 , 「一般入試」が 2.36 ± 0.71 , 「AO入試(現役)」が 2.34 ± 0.54 , 「AO入試(社会人)」が 1.90 ± 0.00 の順で高かった。幼児教育学科とフードデザイン学科は、「AO入試(社会人)」のGPAが最も高く、次いで「センター入試」のGPAが高かったことが共通していた。

上記の4年間まとめたGPAを比較すると、幼児教育学科は、「AO入試(社会人)」が「推薦入試」($p < 0.05$), 「一般入試」($p < 0.05$) および「AO入試(現役)」($p < 0.01$) との間で、その差が有意に高いことが認められた。また、「センター入試」が「AO入試(現役)」($p < 0.05$) との間で、その差が有意に高いことが認められた。特に、「AO入試(社会人)」のGPAは、社会人入学生が、卒業後の再就職への一歩としての考えが強く、専門職に対する理解や職業志向性が高かったため高く推移したと考えられる。しかし、フードデザイン学科およびビジネスキャリア学科は、入学選考方法別の区分間においては、有意差が認められなかった。

今後、目的意識、学習意欲および専門職への動機づけの維持と向上をさらに計り、中間期である1年次終了後での分析も加え、継続的に入学後の成績追跡調査を行い、データを集積することにより、入学前教育や入学後の教育支援体制への改善に活用していく必要がある。また、本報では、追跡調査の方法としてGPAを活用

したが、GPA 評価は各担当教員の成績評価によるものであるため厳密な数値とはならないという問題が残る。中央教育審議会大学分科会将来構想部会の下に置かれた制度・教育改革ワーキンググループでは、学生の個人の学修成果を測定するのに用いることが出来る方法として、アセスメントテストを挙げている⁴⁾。GPA は一定水準を維持することが最低条件となるものの、加えて、外部テストも含め、全学的なアセスメントテストの実施を検討する必要があるだろう。

IV. まとめ

2012～2015 年度入学生に対して、入学者選考方法別による学業成績の関係を、GPA を用いて、追跡調査・分析を行った。その結果、幼児教育学科は、4 年間総じて、社会人 AO 入学者と推薦入学者、一般入学者および現役 AO 入学者の GPA に有意差が認められた。また、センター入学者と現役 AO 入学者の GPA に有意差が認められた。フードデザイン学科およびビジネスキャリア学科は有意な差が認められなかった。入学後の成績は、入試形態別に分けて、幼児教育学科では、社会人 AO 入学者、センター入学者、一般入学者、推薦入学者、現役 AO 入学者

の順で高く、フードデザイン学科では、社会人 AO 入学者、センター入学者、推薦入学者、現役 AO 入学者、一般入学者の順であった。ビジネスキャリア学科では、センター入学者、推薦入学者、一般入学者、現役 AO 入学者、社会人 AO 入学者の順で高かった。社会人 AO 入学者は就業という明確な目的意識をもって入学後、学修したことが成績の高い理由として挙げられる。今後、継続的な学業成績追跡調査を行うとともに、1 年次学業成績の分析について、比較検討する必要がある。

参考文献

- 1) 文部科学省. 平成 27 年度私立短期大学入学者選抜実施状況. 平成 27 年 10 月 20 日.
- 2) 文部科学省. 平成 29 年度私立短期大学入学者選抜実施状況. 平成 29 年 12 月 1 日.
- 3) 生地暢・江越和夫・安保康治: 入学選考方法別による学業成績の追跡調査. 久留米信愛女学院短期大学研究紀要, 40, 19-24. 2017.
- 4) 文部科学省. 中央教育審議会大学分科会将来構想部会・制度・教育改革ワーキンググループ資料. 平成 29 年 8 月 9 日.

(2018 年 3 月 26 日受稿)